

## ～スタッフ通信～

デイサービスでは、グッデイという社名にも表れているように、利用者様への挨拶を大切にして、「おはようございます、今日もよろしくお祈りします」から始まります。

デイサービスではお食事、入浴のほかに、ご本人様の日常生活のリズムに合わせた生活リハビリに取り組んでいただいたり、創作活動や歌唱、談話など、好きなことを思い思いに楽しんで過ごして頂いています。皆様が安心して1日を過ごしていただけるよう試行錯誤の日々ですが、これからもスタッフ一同励んでいきます。

またこれからは新緑の季節を迎え、気候も良くなってきますので、お出かけをしたりして、利用者様が住み慣れた地域で、その人らしく生活出来、達成感のある暮らしが送れるよう少しでもお力になりたいと思っています。

生活相談員 村田 信吾



## -編集後記-

4月中頃まで続いていた寒さが少しずつ息を潜め、早くも夏の訪れを感じさせる気候に変わりつつあります。

季節・環境の変化に気づき、それを受け入れ、行動に移すには柔らかな頭と穏やかな心の目線が必要になります。



比叡平デイ  
玄関に咲くラッパ水仙

～うすうすと

窓に日のさす 五月かな～

正岡 子規

～ 編集責任者 佐井 章 ～

TEL 075(703)7484 FAX 075(703)7511

e-mail / info@goddag.co.jp

ご意見・ご感想をお寄せ下さい

※個人情報に関しては、厳重に取り扱わせて頂いております

発行 / 在宅ケアステーション **グッデイ**

〒606-8625 京都市左京区北白川東久保田町66-2

発行日 / 平成28年10月21日【季刊発行】

# Tak

Good Day!  
Thank  
You!

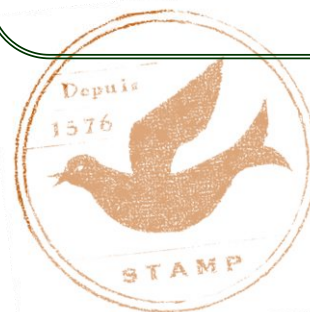


グッデイより利用者様・ご家族様や業者様へ  
日頃の取り組みをたくさんつめて、お届け致します。

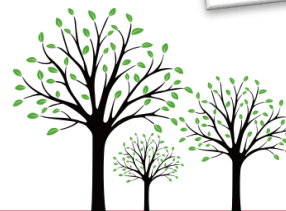
～ 住みなれた場所で自分らしく過ごしていただくために、私たちは考えます～

2017年 5月 第13号  
グッデイ便り

## 立夏号



比叡平デイ 桜の木の下で…



## デイホーム 便り

春や秋の気候の穏やかな時期は、利用者さんと散歩を兼ねて外出します。屋外でしか味わえない空気や情景、遊びなどを体験して頂いています。

▼公園でゲートボールやブランコを楽しむ



▼比叡平から少し離れた神社に皆で参拝



▲哲学の道に咲く桜を眺めながらお散歩



屋内では様々なリレーションやイベントを行っています。

◀ マジックショー  
びわこマジック



## 地域総合支援事業

平成29年4月より地域総合支援事業(暫定)がスタートしました。

(平成30年4月から正式な事業に移行)

現行の介護認定が「要支援」の方を対象とし

従来の介護保険事業者に加え、地域のボランティアやNPO法人も参加でき、福祉サービス利用の選択肢が増えることとなります。

詳細については担当ケアマネジャーにお問い合わせください。

## <お知らせ>

季刊誌「Tak」も発行3年をむかえ、日常のサービスの情報の「お便り」にとどまらず「記事」や「コラム」として情報を発信できる季刊誌にリニューアルしました。

今回より、藤原明達先生の「記事」を連載していきます。  
感想やご意見がございましたら、下記メールまでご連絡下さい  
honbu@goddag.co.jp

## デンマークのこと

1

1993年から現在にいたるまで十数回、デンマークを訪れた。いつも、日曜日に日本を出、1週間後の日曜日に日本へ帰って来る7泊8日の旅行。滞在は一つの町だけ。デンマークは観光の国ではない。日本よりゆったり流れる時間の中で異なる文化に触れるだけ。短い充実した時間を与えられる。

デンマークの面積は4,300km<sup>2</sup>(九州くらい)、人口570万人の小国。デンマークは王国。女王はマルグレーテ二世。国民の間で圧倒的人気があるらしい。社会形態は「社会民主主義」とでも呼ばせて頂きたい。資本主義に基づいた経済活動と社会主義の原理による富みの分配が社会の根幹をなしている。それは民主主義国家の一つの形態だと考え、その見聞が常に私をデンマークへと駆り立てる。

ちなみにアメリカ合衆国も日本も民主主義国家。社会のダイナミックな変化をみていると民主主義の社会的実験を絶えず繰り返している国と言いたくなる国がデンマークだと思う。

「自然資源はなく人が資源」というのがデンマークであり、経済活動は黒字。また酪農国で有名だがむしろ現在は工業国である。話は少しそれるがデンマーク人はとてもお金儲けが上手。かれらしか出来ないこと、またはかれらが出来てしまったことに付加価値を与えきっちり稼ぐ。

例えば、ロイヤルコペンハーゲンの食器、ジャンセンの銀細工品など、三百年前に始まったものだと思うが今や世界的なブランド品になっている。世界に比類を見ない優秀な技術を持っている日本の町工場はデンマーク人にかかれば世界のブランド企業に変えてしまうだろう。

ロイヤルコペンハーゲンだけでなく小さくて超一流の企業(この部品はデンマークのこの会社しかできないというような企業)がデンマークには多くあり、その拠点は首都コペンハーゲンに集まることはなく、地方の市町村に散在している。首都への一極化を避け、地方の活性化も図っている。

国民は収入の約40%を所得税、市町村税等として納め(それ以外に消費税25%)、それを政治家たちがその時点で最も公平だと考えた手法で社会に還元する。それがデンマーク社会である。

2017年5月24日 内科医・藤原明達